

波言者の母親

様式第九号（刑訴第二二三条、第一九八条）

(乙)

供述調書

住居

金沢市泉ヶ丘二丁目一番三三号

職業

保険外交員

氏名

安藤 紀子

電話 四二局 一七二四番

右の者は、平成四年四月二日において、本職に対し、任意次のとおり供述した。

金沢西警察署

おは現在、金沢市香林場にあふ。

其業火災海上保険

五八号証に勤め外交員の仕事をしておりまふ

三川良肇 終月氏

石川貝誓 亥月 糸

和方の家族は、今お話しした住居地に

松任市旭町の西鉄工所に勤める。

夫 安藤健次郎

昭和九年十二月十五日生

石川郡熊本市の株式会社江村田に勤める。

次男 康郎

昭和四年二月三日生

金沢市二丁町の市場急配センターに勤める。

長女 文子

昭和五年八月十五日生

無職

義母

みよ

明治四十年一月一日生

五人家族で一人で

長男

達郎

昭和二十七年七月三日生

はいつは結婚して今は東京で

別所帯で持っていて

ところで昨日お母の長女文か

男の人に暴力を振付け

怪我を負わせたり

県立中央病院で治療中

の叔母が二人に

号で逮捕された事を知り

石川警察署用氏



知っておりました。

犯人にいつか詩くは判りませくか

以前から長女に交際を甲し生て

いふ男がおり、その男ではあるかと

思いついて、その男から長女の

こゝろを犯人ではあるかと思つて

いる男の事を知つて、その事をかき

まゝ！

まづ長女文のころからお話します

長女文は現在、金所地で生まふ。

昭和五七年に

金沢市立第五小学校で卒業

昭和五七年に

合沢市立早中學校 七十九歳

昭和五三年

金沢女子短期大学附属高校 七十九歳

1. 子後

石川県職員

なる

石川県庁 税務課

に 勤 務 了 り 様 に な り ま し た

1 か し 七 月 迄 で 当 時 私 が 交 通 事 政

で 提 我 に 負 担 せ ら れ た 事 故 に 関 係 有 り

亦 事 故 有 り 為 に 申 し 上 げ 申 し 上 げ

紅 事 女 辞 め ら れ 申 し 上 げ

私 の 提 我 に 関 係 有 り 亦 事 故 有 り 申 し 上 げ

石川県警察月氏

なるので、長女。又、御父にせよ。  
紅毛を預けてゐる。又、  
友人の紹介で、事務員を募集して  
いる。会社のある事を知り、  
今、いふ。

金沢市二ツ町

市場急配せ

事務員として、勤め出さる。様になつて  
のて。

勤め出さる。

平成二年一月頃から

長女。又、仕事振りや性格に似て

ですが。仕事は毎日行っている。  
 勿論さる様子をありませう。  
 本人も。

留めかかっている。

話してあり。紅白身では。仕事場  
 へ。うまくなっていく様子を思ひあてし  
 ていたのです。

体は健康であり。今も。駅西に新く  
 出たスパーというところへ通っている。  
 運動するのには好まえる。入る。出る。  
 推測は。

家では。隠し事はせず。  
 仕事場へ来て話を。



え

あ  
う

方であり。女子の友誼は祝山とい  
 まうが、特定の男の子に付いてい  
 様子はいさくどちかへ言えとい  
 に聞いては消極的な方であり、私から  
 見て、まじまじ子供であり、言いた  
 感にあらざる  
 うる長女が、今回の様な放言にあ  
 ると、おにうが、念にうしろ氣持で  
 あり、暴力を振った相手は男か女  
 いう男であり。長女はどういう関係に  
 あつたのか、詳しくは判りませんが、  
 知る限り、文に無理難題近寄  
 て、それではあるか、思ひます。



七.

事件、後から聞いゝ話では、長女に  
罵力な振った男といふのは、

同じ金江の運転手

といてゐる男

とや事でみり。うみゑる。思ひあふ

こゝかあるやで

と  
言ふのは

昨年の秋頃から

同い方へ長女を出して欲しといふ

電話か何回もかかつてゐた事か

あり。その電話の相手は、男の人で

いつか同じ人物でありました。

電話では

女に可なり  
合丁に互言葉で  
話してあり

合  
社  
の  
子  
の  
人  
で

結婚歴 9 年 7 人

2. 4. 6. 8.

22 人の付く

あ 2 3

有

行  
 々  
 合  
 つ  
 へ  
 下  
 日  
 友  
 へ

付  
を  
人  
に  
る  
氣  
る  
く  
か  
無  
二  
一  
か  
う

電 話 に 出 づ け

2. 7. 9.

和  
同  
身  
ヲ  
ア  
テ  
テ  
テ

長女が何々令う等々  
 ぐすでる。男から電話が  
 来た。家族皆で。

又、このトキ、  
 出外してゐる。

電話でかうしてゐる男に  
 事もなく。長女に「南か  
 るか」で「南か」。

今年に、

男から電話が

かかるとなつた。

αで、  
 知る限り、長女に「言ひ寄つて」

三川具隆家月氏



九.

来る男は、この電話をかりて、  
 いた男一人で、みそく  
 今の犯人に、向う、  
 一、二、三、  
 長女が、この男を、  
 全く、おさう、  
 先にお話した様に、  
 長女は、  
 終、た、  
 帰、つ、  
 事件が、  
 今、  
 四月、  
 一日、

の長女、様子、  
 一、二、三、  
 一、二、三、

様に

午前八時三十分頃

に、月名ノ車である。

軽田自動車

ホニゴトウダ

六二〇

で出て来ており、

紅ヲ合紅車としており、

皆を送り、その後最後に紅車に生か

け、また五時頃には急に度

る、後此が順に帰完して、

であり、長女は、

午後五時三十分頃

三川具隆家月氏

に。ま。家へ帰って来て。い。ま。で。す。  
一。か。一。この日は。何時。何時。に。な。つ。  
て。長女が。帰。来。せ。ず。と。し。て。皆。で。心。配。  
して。い。ま。で。す。  
普。段。で。す。何。れ。が。遅。い。時。は。必。ず。  
家。へ。電。話。し。て。き。て。あ。り。ま。す。  
電。話。し。ま。く。に。配。し。て。い。る。所。へ。尋。ね。  
か。ら。

長女に。電。話。し。て。振。つ。て。何。れ。に。負。か。せ。ら。  
れ。人。に。い。て。は。い。  
一。の。連。絡。が。あ。り。び。く。く。り。し。ま。す。  
長。女。に。電。話。し。て。振。つ。て。何。れ。に。負。か。せ。ら。  
れ。人。に。い。て。は。い。

金沢市東力二丁目二番地二



一七

安藤 弘世

ち  
り  
録  
取  
一  
読  
み  
南  
か  
せ  
ひ  
こ  
こ  
了  
了  
)

三三川長峯冬月氏

右に日 中一立 了 署名押印一

前同日

金沢西署署長

司法警察員也 查 川原照久 (印)